

東野污水处理場跡地「旧楽花苑」活用に関する住民説明会

1 住民説明会であったご意見について 追加

(1) そもそも、施設をつくる事は出来ない場所のはず。

⇒令和7年3月25日付けで、東野中継ポンプ場を廃止する都市計画決定が行われているため、東野污水处理場跡地「旧楽花苑」は現在、市の普通財産となっており、いちょう学級第3の施設整備は可能となっています。

(2) 旧楽花苑のそもそもの最初に立ち返って、市長・副市長等から説明があるべき。教育委員会が説明する話ではない。

⇒当該土地の活用については、不登校児童生徒に必要な施設として考えることとしたため、教育委員会でご説明させていただいたところです。

(3) 全員のコンセンサスが取れて始めて進められる計画だ。

⇒市の施策事業としての計画であり、今後も住民の意見を参考に進めてまいります。

(4)アンケートの取り方がおかしい。きちんと説明がされてから再度取るべきだ。

⇒東野污水处理場跡地「旧楽花苑」につきましては、平成2年11月2日に市に寄付され、これまで様々な形で利用されてきたところです。

本アンケートにつきましては、「コモンシティ浦安污水处理施設の移管に関する協定書」において、「污水处理場跡地の管理については、地域周辺住民の意向を配慮するもの」となっておりますので、今後の東野污水处理場跡地「旧楽花苑」の活用検討にあたり、地域の皆様のご意見を伺うために実施したものです。

(5)いちょう学級ありきの進め方がおかしい。

⇒市としましては、施策の方向性を決め、その後、東野污水处理場跡地「旧楽花苑」活用について住民の皆様にはアンケートと説明会を実施し、意見を伺ってきたところです。

(6)不登校の子に配慮しているのに、住民への配慮はない。

⇒本事業を進めるにあたりましては、今後も引き続き、地域の方々に配慮して進めていきたいと考えています。

(7)不登校支援(教育支援センター)に関する国・県の考えはどうか。また、近隣市の状況はどうか。

⇒国では、令和元年10月25日付け「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」の中で、主体的に教育支援センターの整備充実を進めていくことの必要性を示しており、令和5年3月に示された「COCOLOプラン」では、その機能の強化について言及しています。

県内の状況については、千葉県ホームページ内で「千葉県版児童生徒・保護者のサポートガイド」の4頁目に掲載されている様に、多くの自治体で不登校支援のための教育支援センターが設置されています。

(8)費用対効果として、子ども1人何千万円かかると議会で答弁できるのか。

⇒費用対効果については、様々な考えがありますが、不登校対策の効果としては単純に利用人数で計算できるものではないと考えます。

(9)旧楽花苑に近い住民から個別に説得したらよいのでは。

⇒近隣の方はもちろん、地域全体にご説明しながら進めていきます。

(10)基本設計をしてからと言うが中止になるかもしれないので、お金の無駄になる。

⇒今後もいただいたご意見を参考に進めていきたいと考えています。